



のんびりしたい！
を描きました

絵の中の人になりきって
さんぽしてみませんか？



収蔵企画展

のんびり南画さんぽ

Nonbiri
Nanga
Sanpo

—たのしく・やさしい近代南画めぐり—

2024年
【前期】3月16日☉⇒5月12日☉ 【後期】5月25日☉⇒7月7日☉

休館日：毎週月曜日（4月29日、5月6日は開館）、祝日の翌日（3月21日、4月30日、5月7日）、展示替期間（5月13～24日）
「県民の日」無料開館：2024年6月15日（土）※栃木県民以外も無料観覧可
本展は当初予定から上記のとおり会期を延長しました／前期後期で大幅な展示替えを行います。作品の展示期間は会期中にHPにてご確認ください

他ジャンルから
南画へ



桃と舟と
ユートピア



この絵の理由が
書いてあります



○開館時間／午前9時30分～午後5時 ○観覧料／一般520円(470円)（ ）内は20名以上の団体料金
※大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は観覧無料(学生証・障害者手帳をご提示ください)
※団体以外は予約不要。現金のみ。入場制限を行う場合がございます。

作品名(左上より)：児玉果亭《梅花書屋図》、石井林雪《薄暮》、小室翠雲《下浦漁遊詩巻》*、小杉未醒《放電》《瀬十題》より「鏡」、橋本閑雪《東坡先生遊金山寺図》、岡田蘇水《春山幽居・秋山見句》、矢野橋村《春江漁者図》 背景画像：(上)荒木寛友《上州妙義中殿真景図》*、(下)児玉果亭《梅花書屋図》
図版はすべて部分、*は当館蔵寄託。表記の無いものは当館所蔵。



石



かん
寒

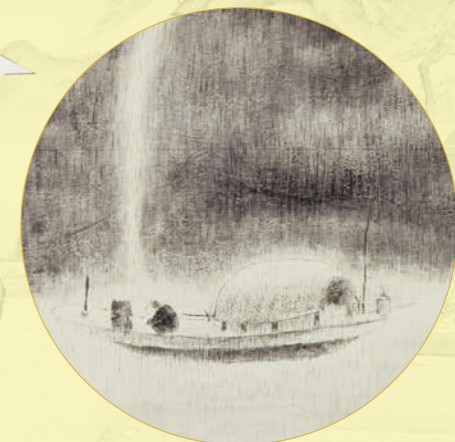


川

2024年
1月20日☉⇒3月3日☉
休館日：毎週月曜日（2月12日は開館）
祝日の翌日（2月13日）
2月19日（月）に一部展示替えを行います
（展示期間は会期中にHPでご確認ください）

栃木生まれの近代南画家

がん
巖



栃木県立
美術館の
コレクション
による
展覧会

アーティスト2023



●主催●
佐野市立
吉澤記念美術館
栃木県立
美術館

○開館時間／午前9時30分～午後5時 ○観覧料／一般520円(470円)（ ）内は20名以上の団体料金
※大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は観覧無料(学生証・障害者手帳をご提示ください)
※団体以外は予約不要。現金のみ。入場制限を行う場合がございます。

作品名(左上より)：《菓果図》、《春景図》、《踏断流水》(前期展示)、《戯画》、《馬図》、《蓮葉仙塊》(後期展示)、《世説新語》(前期展示)、《漁舟(白鷺図)》(前期展示) 背景画像：(上)《踏断流水》(前期展示)、(下)《蓮葉仙塊》(後期展示) ※いずれも石川寒巖作、部分図、栃木県立美術館所蔵

栃木県立美術館の
コレクションによる展覧会

石川寒巖

2024年
1月20日(日) ⇒ 3月3日(日)

休館日：毎週月曜日（2月12日は開館）
祝日の翌日（2月13日）
2月19日（月）に一部展示替を行います
（展示期間は会期中にHPでご確認ください）

会期中の
催し物

状況により変更になる場合があります。
当館HP・Instagramでご確認ください。

1) 栃木県立美術館学芸員によるギャラリートーク
講師：志田康宏氏(栃木県立美術館学芸員)
日時：2024年1月27日(土)14時～(40分程度)
場所：美術館展示室(エントランス集合)
※当日先着順(15名)、要当日観覧券

2) 展覧会のみどころトーク
「南画の流れの中でみる寒巖」
(スライドによる説明)
講師：当館学芸員
日時：2024年2月4日(日)14時～(40分程度)
場所：地域交流センター(美術館内)
※予約不要、当日先着順(15名)

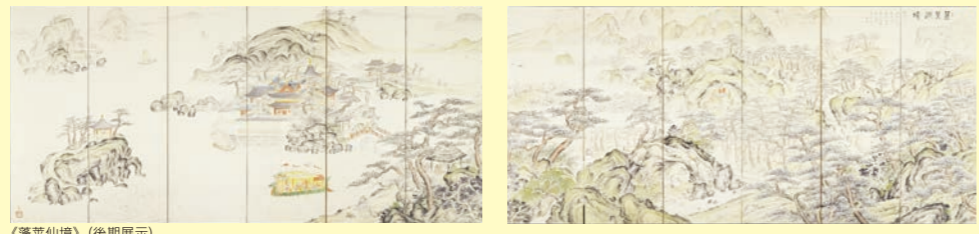
3) 作品鑑賞会 ～当館学芸員とご一緒に～
日時：2024年3月3日(日)
午後2時～(40分程度)
場所：美術館展示室(エントランス集合)
※当日先着順(15名)、要当日観覧券

4) 運氣上昇!早春スタンプラリー
日時：2024年2月6日(火)～3月3日(日)
参加館：佐野市立吉澤記念美術館、佐野市葛生化石館、佐野市葛生伝承館、佐野市葛生図書館
干支「辰」や新年・春にまつわるおめでたい作品・資料・図書が展示されています。全館制覇された方に、すてきなプレゼントをさしあげます(先着30名予定)

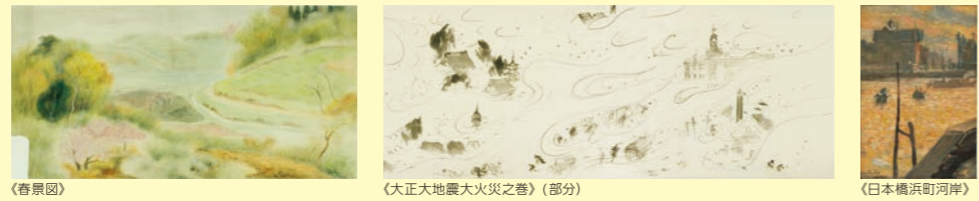
栃木県黒羽町(現・大田原市)に生まれ、近代南画に忘れ難い足跡を残した石川寒巖(1890-1936)の魅力を紹介する展覧会です。本展は、栃木県立美術館の所蔵品を活用する事業「アートリンクとちぎ2023」の一環として開催します。

石川寒巖は大田原中学校を卒業後に上京し洋画と日本画を学び、郷里での禅修業を経て、大正9年(1920)に再上京して小室翠雲門下となりました。以後、日本南画院を舞台に活躍、伝統的な南画の様式や技法の追求にとどまらず、後期印象派や同時代日本画の潮流を反映しつつ独自の画風を作り上げました。しかしながら円熟期を迎え、新たな画風展開が期待される中、46歳にして亡くなりました。明治後期に一旦退潮しつつも、大正期には新しい視点で再評価された「南画」の展開において、重要で忘れがたい足跡を残しました。

本展では、寒巖作品や日記資料に見られる近世以前の「南画」やさまざまな要素に注目し、それらをどのように織りなして独自の画風を創り上げたかを考えます。江戸時代以来の南画の伝統を汲むコレクションを擁する当館で、寒巖の南画の独自性を知り、その魅力を味わうまたとない機会となります。



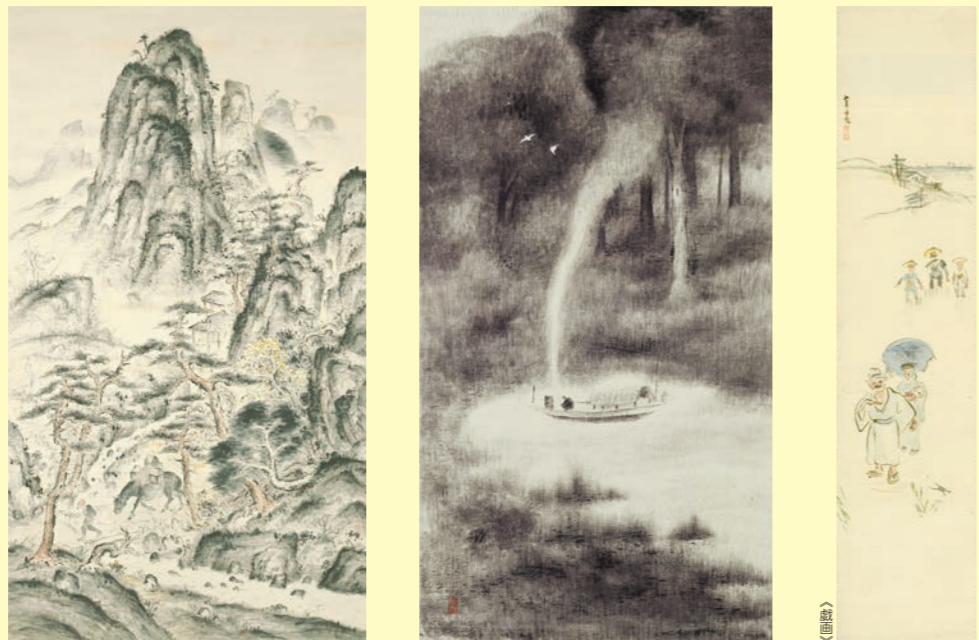
《蓬萊仙境》(後期展示)



《春景図》

《大正大地震大火災之巻》(部分)

《日本橋浜町河岸》



《踏断流水》(前期展示)

《漁舟(白鷺図)》(前期展示)

左ページの図版はいずれも石川寒巖作、栃木県立美術館所蔵



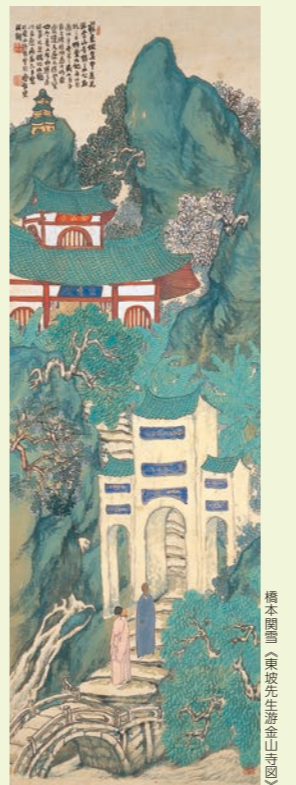
今村紫紅(唐人物)



荒木善友(个州抄) 養中献書画図*



松林月白(四季山水図)より「画」*



橋本國三(東坡先生游金山寺図)



小杉左衛門(飯巻(猫十趣)より)開図

右ページの図版について、*は当館寄託。表記の無いものは当館所蔵。

「のんびり」「さんぼ」をキーワードに、明治から昭和初期にかけての「南画」の魅力をご紹介します展覧会です。

「南画」は、中国の知識人=文人が余技的に描いた「文人画」の別称「南宗画」の日本における略称で、明治30年代から広く使われるようになりました。このジャンルでは、文人たちの「のんびり」した生活へのあこがれを反映し、自然景の中を散歩する人々を導線として鑑賞される「山水」が多く描かれました。

この展覧会では、「①江戸時代後期からの流れを継承する明治期の作品、②今村紫紅(やまと絵)・小杉放菴(洋画)ら、他ジャンル出身の画家たちによる作品、③小室翠雲ら①の流れを継承する新しい世代の南画家たちの作品」というように、近代における「南画」の複雑でさまざまな様相を、受け手(コレクター)の視点から紹介します。その一方で、南画の持つびやかな魅力の楽しみ方を、たのしく・やさしく・のんびりとご紹介します。

収蔵企画展

のんびり南画さんぼ

2024年
【前期】3月16日(日) ⇒ 5月12日(日)

【後期】5月25日(日) ⇒ 7月7日(日)
休館日：毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館)、
祝日の翌日(3月21日、4月30日、5月7日)、
展示替期間(5月13-24日)

本展は当初予定から上記のとおり会期を延長しました。前期後期で大幅な展示替えを行います。作品の展示期間は会期中にHPにてご確認ください。

会期中の
催し物

状況により変更になる場合があります。
当館HP・Instagramでご確認ください。

1) 「くさうフェスタ」特別開館
日時：2024年5月11日(土)(予定)
・美術館各種催事
・関連催事：屋上・ステージほか(葛の里香番館)

2) 「県民の日」無料開館
日時：2024年6月15日(土)
※栃木県民以外も無料観覧可

3) 作品鑑賞会 ～当館学芸員とご一緒に～
日時：2024年3月16日(土)、4月20日(土)
5月11日(土)、5月25日(土)、6月15日(土)
午後2時～(40分程度)
場所：美術館展示室(エントランス集合)
※当日先着順(15名)、要当日観覧券

栃木県立美術館で開催中の展覧会

春陽会誕生100年
それぞれの闘い

2024年1月13日[土]
- 3月3日[日]

小杉放菴(松下人)1935年
栃木県立美術館蔵



ごいっしょに～佐野の文化散歩～

※休館日などについては、各館にお問い合わせください

佐野市葛生伝承館 0283-84-3311 (入館無料)
「雛人形展」2024/2/6(火)～4/5(金)

佐野市郷土博物館 0283-22-5111
「くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし」(無料)
2024/1/4(木)～3/3(日)
「佐野の遺跡」2024/4/27(土)～6/30(日)(有料)

佐野市葛生化石館 0283-86-3332 (入館無料)
「ミニ千支展示「2024年・辰年」」
2023/12/9(土)～2024/12月

佐野市人間国宝田村耕一陶芸館
0283-22-0311 (入館無料)
「田村耕一のデザイン展」2023/11/3(金・祝)～2024/2/25(日)
「田村耕一、鉄絵が主役になるまで」2024/3/1(金)～6/30(日)

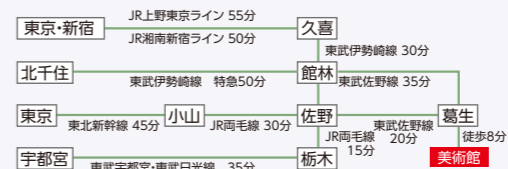
美術館へのアクセス



北関東自動車道佐野田沼ICから15分
→国道293号線を利用
→葛生行政センター北側
※宇都宮中心部から60分



東武佐野線 葛生駅徒歩8分



※所要時間は目安です

佐野市立吉澤記念美術館
YOSHIZAWA MEMORIAL MUSEUM OF ART, SANO

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30
TEL: 0283-86-2008 FAX: 0283-84-3655

https://www.city.sano.lg.jp/museum/
Instagram: @yoshizawa_muse_sano



ホームページ



インスタグラム

ご来館の
前に!

予告なく会期の変更や開催中止・臨時休館となる場合があります。
最新情報を当館ホームページ、またはお電話にてご確認ください。

